

【令和2年度第1回堺市廃棄物減量等推進審議会におけるご提案と対応】

ご提案内容	ご提案に対する部会の考え方と対応
<p>1 ○減量化・リサイクルに関する具体的な目標などがあれば、市民が取り組みやすい。具体的な目標をもって市と市民が一緒に取り組んでいくような施策があれば、より積極的に取り組み、ごみの減量化・リサイクルを進めていくことができるのではないかと。</p>	<p>○家庭系ごみの減量においては、市民の協力が必要不可欠であり、実施施策の検討の際には、市民と行政が同一の目標に向かって、協力・協働しながら取り組むことを前提に、より効果的な手法について検討していく必要があると考えます。計画改定の際には、具体的な検討を行う必要があると考えます。</p> <p>○ご提案内容を追記しました。 18ページ 6. 今後の施策展開／（1）減量化・リサイクル／3つめの○</p>
<p>2 ○市からの一方的な施策ではなく、この計画改定を機に自治会をとおして情報発信を強化するなど、市と自治会が協働して市民への情報発信に取り組んでもいいのではないかと。</p>	<p>○家庭ごみに関する情報発信において、市民に分かりやすい具体的な目標、市のごみ処理状況、ごみの減量化・リサイクルに関する有効な手法等を示すことは必要であると考えます。</p> <p>○情報発信の際には、市民と市が一体となって家庭ごみの減量を進めていくための有効的手法のひとつとして、自治会との協働した情報発信について検討を行う必要があると考えます。</p> <p>○ご提案内容を追記しました。 19ページ 6. 今後の施策展開／（1）減量化・リサイクル ／○家庭系ごみの減量化・リサイクルに係る情報発信</p>
<p>3 ○清掃工場において老朽化が進んでいること、稼働率が高い状況にあることを知らなかった。また、家庭ごみの有料化が全国的に進んでいるが、堺市で家庭ごみの有料化の検討を行っていることについて知らない市民が多いと思う。市の現状に関する情報発信をもっと積極的に行っていくべきではないかと。</p> <p>○市民にとって家庭ごみ有料化に関する情報が突然出てくるのではなく、ごみの減量が進めば、有料化を実施しなくてもよくなる可能性があるというような情報発信をすれば、市民も積極的に協力するのではないかと。</p>	<p>○清掃工場に関する情報等は広報紙やパンフレット等で情報発信を行っておりますが、家庭ごみ有料化に関する情報発信はできていない状況にあります。</p> <p>○今後は市民の更なるごみの減量化・リサイクル意識向上のため、施設の現況や家庭ごみ有料化の導入の必要性及び可能性などを含めた堺市のごみ処理状況についてより積極的な情報発信を検討・実施していく必要があると考えます。</p> <p>○ご提案内容を追記しました。 19ページ 6. 今後の施策展開／（1）減量化・リサイクル ／○家庭系ごみの減量化・リサイクルに係る情報発信</p>

<p>4 ○減量化・リサイクルの「特に重点的に検討・実施すべき取組」について、現在家庭系のみとなっている。事業系の取組である「減量化・リサイクルに関する情報発信」「事業系一般廃棄物のリサイクル体制の構築」を重点事項として追加したらどうか。</p>	<p>○今後2工場体制の確立に向けて、家庭系のみならず、事業系ごみの減量化・リサイクルについても、新規施策を検討、積極的に推進していく予定であり、特にご提案いただいた2項目については、重点的に検討・実施していく必要があると考えます。</p> <p>○ご提案内容を追記しました。 21ページ 6. 今後の施策展開／（1）減量化・リサイクル ／○事業系ごみの減量化・リサイクルに係る情報発信 ／○事業系一般廃棄物のリサイクル体制の整備</p>
<p>5 ○高齢者にとってはごみの分別も難しい。分別ごとにシールで色分けするなどわかりやすい分け方を考えていく必要があるのではないか。色分けすることでごみのうち何を減らすべきかわかるようになるのではないか。</p>	<p>○今後高齢化が進む堺市において、高齢社会への対応は重要な課題となっています。今後高齢者へのごみ出し支援の充実とともに、高齢者にとってわかりやすい分別方法や情報発信は必要であると考えています。今後具体的な検討を進めてまいります。</p> <p>○ご提案内容については、答申案内「高齢者が分別しやすい排出方法」の具体的取組内容として、今後の施策検討時の参考とすべきと考えます。</p> <p>○ご提案内容について一部追記しました。 22ページ 6. 今後の施策展開／（2）収集運搬／○高齢者等への対応</p>
<p>6 ○収集運搬経費はごみ処理経費の中で一番割合が高い。様々な施策を進めていくうえで、収集運搬経費の観点からみておくべきである。</p> <p>○現在リサイクルプラザと清掃工場が別々の離れた場所にあるが、更新の際は、併設することも視野に入れてもらいたい。</p> <p>○また、併設など施設の集約化に努めることは経費の削減につながるものである。</p>	<p>○ごみの減量化・リサイクル及びごみ処理体制の整備に関する検討を行う際には、収集運搬経費を含むごみ処理経費の観点からも検討していく必要があると考えます。</p> <p>○中間処理施設更新の際には、収集運搬経費に加え、収集運搬効率の向上及びCO₂排出量の削減の観点から現在離れている施設の集約化についての検討が必要と考えます。</p> <p>○ご提案内容を一部追記しました。 24ページ 6. 今後の施策展開／（3）中間処理／7つめの○</p>